

「急性期病棟からの自宅退院における家族因子についての調査」について研究協力をお願い

【研究目的】

当院は高知県東部地域において唯一回復期病棟を有する病院です。回復期病棟の病床数は42床と決して多くなく、そのため急性期病棟からそのまま退院するケースもあります。自宅退院が可能となるには患者様本人の状態だけでなく、介護をする家族の要因は大きく関係しており、介護力の大きさが自宅退院の可否を左右すると言っても過言ではないです。

そこで、当院急性期病棟より自宅退院をされた患者様のご家族に対して調査を行ない、自宅退院における家族の影響する因子を解明し、その患者様およびご家族への関わり方を明らかにすることとします。

【対象】

当院の急性期病棟に入院後リハビリを実施し、急性期病棟から自宅退院した患者様のうち、主たる介護者が同居もしくは同敷地内に住んでいる者で、本研究に対して同意を得た者。

【方法】

- ①カルテより患者様の年齢、性別を抽出します
- ②家族より主介護者の続柄、年齢、介護者の人数、利用予定のサービスを聴取します
- ③主介護者に「Zarit 介護負担尺度」を記入してもらいます

【研究期間】

2019（令和元）年7月～2019（令和元）年9月

【個人情報について】

対象者を特定されないよう、名前は公表せず、日付に関しても表記せず評価日は入院からの経過日数とする。

本研究は、日常の一般診療として行われたものの観察研究であり、新たに直接的侵襲を負荷するものではない。さらに、新たに費用が発生することもない。

本研究に関してご質問および対象となる方で研究への利用を拒否される場合は、お手数ですが平日の9時から17時の間に下記の研究代表者まで、ご連絡頂きますようお願い申し上げます。

【研究代表者】

リハビリテーション部 理学療法士 宮田千華、森下誠也

【代表者連絡先】

電話番号：0887-38-7111